

令和6年度 宝石美術専門学校自己評価結果

1. 評価方法

○評価の実施に当たっては、文部科学省が定めた「専修学校における学校評価ガイドライン」を参照して本校の評価項目を設定した。

○各評価項目について、次の評価基準により教職員が実施した。

・適切：4 ・ほぼ適切：3 ・やや不適切：2 ・不適切：1

○評価結果は、各教職員の自己評価結果の平均値とした。

・適切：3.5以上 ・ほぼ適切：2.5～3.4 ・やや不適切：1.5～2.4 ・不適切：1.5未満

○アンケート結果等も踏まえ、内部評価を行い以下のとおり結果を取りまとめた。

2. 評価項目の状況

(1) 教育理念等

評 価 項 目	結果
①教育理念、教育目標、教育方針が学生、保護者、関係業界等に周知されている	2.7
②本校の教育理念等は教職員に共有、徹底されている	3.3
③育成する人材像は社会情勢や業界のニーズを踏まえている	3.1
④学則・諸規程等は十分に整備されている	2.9

【評価内容】

①教育理念、教育目標、教育方針は定められており、学生便覧、ホームページ等で公開し、周知を図っている。

②本校の教育理念等は教職員に共有、徹底されている。

③開校以来、より充実した教育内容を目指すと共に将来の方向を考慮した学校改革を行い、「専門知識・技術の高度化」や「国際化への対応」などを目指し取り組んでいるが、加速する少子化、これに伴う入学定員の確保などを踏まえ、引き続き本校に求められている社会経済のニーズ等をしっかり把握し、反映していきたい。

④学則等は整備されており、改正が必要な場合にはその都度行うこととしている。

(2) 学校運営

評 価 項 目	結果
①教育活動等に関する情報公開が適切になされている	3.4
②安全管理、防災など危機管理に対する体制が整備されている	3.3
③学校ホームページやSNSによる発信を継続している	3.7

④地域社会や業界等に対するコンプライアンス体制が整備されている	3.4
⑤教育理念等に沿った学校の取り組み方針は共有されている	2.9
⑥教職員間の情報共有、情報交換は十分に行われている	2.9
⑦組織的な意思決定がなされており、学校運営は有効に機能している	2.4
⑧校内の情報システムは利用しやすく充実している	3.1

【評価内容】

①教育活動等に関する情報は、ホームページやインスタグラムでの発信等で積極的に公開している。

②危機管理マニュアル及び防災計画を更新、体制を整えるとともに、毎年度初めに防災訓練を実施し、学生への避難経路の周知及び防災意識の高揚に努めている。また消防法に規定する必要な設備を整えており、定期点検も実施している。
さらに、防犯カメラ3台設置、出入り口のオートロック化、警察官立ち寄り所の認定、防犯講座の開催など新たな取り組みを行っている。

③ホームページについては今年度改修し、スマホ対応となり、掲載内容についても更新を行った。

④職場研修等を実施するなどして職員意識を醸成し、体制の整備を図っている。

⑤教育理念等に沿った学校の取り組み方針は共有されている。

⑥週1回行われる学科会議、オープンチャットで教職員間の情報共有、情報交換は十分に行われている。

⑦週1回行われる学科会議において議題として取り上げ、組織的な意思決定がなされており、学校運営は有効に機能している。

⑧情報システムを導入し業務の効率化が図られている。

(3) 教育活動

評 価 項 目	結果
①教育理念等に沿ったカリキュラムの編成、実施方針等が明確になっている	3.1
②教育到達レベルのための学習時間は十分確保されている	3.7
③キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立った教育内容の工夫、開発が実施されている	3.3
④企業実習（インターンシップ）は業界と連携して実施している	3.3
⑤教員はシラバスに基づき授業を実施している	3.9
⑥教育目標の実現のため十分に要件を備えた教員を確保している	3.6
⑦職人を非常勤講師とするなどジュエリー産地山梨の特質を生かした教育を実施している	3.9
⑧グローバル化に対応した教育を実施している	2.3
⑨附属施設山梨ジュエリーミュージアムは本県ジュエリー産地の発信拠点となっている	3.7
⑩成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確である	3.3
⑪市場や業界の状況を勘案し、カリキュラムの作成、見直しを実施している	3.3

⑫教員の更なる能力開発のための研修等を実施している	2.7
---------------------------	-----

【評価内容】

- ①教育理念等に沿ったカリキュラムを策定し、必要な学習時間を確保するとともに、シラバスに目標、内容を明示している。
- ②カリキュラム編成時に、教育到達レベル確保のための学習時間を設定している。
- ③学生が就職を希望する職種（業務）に向けて、高度な技能の習得が可能となるよう選択科目を設置、高度な技術を有する外部講師を招聘し指導を充実させている。
- ④企業研究の一環としてインターンシップは業界と連携して実施している。
今年度は受け入れ企業を増やすことができた。
- ⑤教員はシラバスに基づき授業を実施している。
- ⑥教育の目標実現のため十分な要件を備えた教員を確保している。
- ⑦高度な技術を有する職人を非常勤講師として招聘し、産地の特質を生かした指導を充実させている。
- ⑧グローバル化に対応するカリキュラムを設定・実施している。
- ⑨昨年度、開館10周年、入場者20万人を達成するなど本県ジュエリー産地の発信拠点となっている。
- ⑩基準は規程等に定めており、それに基づいて職員会議で判定を行っている。
- ⑪市場や業界の状況を勘案し、毎年度カリキュラムの作成、見直しを実施している。
- ⑫自己研鑽だけでなく多様な研修等を受講し、能力向上に努めている。

（４）学習成果

評 価 項 目	結果
①宝飾業界への就職率の向上が図られている	3.6
②技能検定、ジュエリーコーディネーター試験等の受験率、合格率の向上が図られている	3.1
③休学、留年に該当する学生の低減が図られている	2.7
④退学者の低減が図られている	2.7
⑤卒業後の就業状況を把握し、学校の教育活動の改善に活用している	2.7

【評価内容】

- ①学生に業界への就職を働き掛けると共に、学校において企業説明会の開催、ジュエリー協会青年部との交流会などを実施し、関係業界への就職率の向上に務めている。
- ②検定、試験等の合格率の向上のため担当教員が連携して組織的な指導体制を組んでおり、毎年一定の合格者を出しているが、今後も合格率向上に努めていきたい。特に技能五輪全国大会では昨年に続き、本年度も銀メダルを獲得するなど成果が現れた。

③④休学者等は、体調不良や成績不振、また退学者は体調不良や進路変更などが要因となっており、各担任及び事務局が個別にきめ細やかな対応をするとともに、教職員間で情報共有し、未然防止に努めている。

⑤昨年度、ジュエリー協会にも御協力頂き、卒業生の在籍調査を行った。今後の教育活動の改善に活かしていきたい。

(5) 学生指導等

評 価 項 目	結果
①教員は、学生に対して公平、平等に対応している	3.3
②学習に関する支援は十分実施している	3.7
③就職に関する支援は十分に行われている	3.6
④学生の相談には十分に対応している	3.6
⑤学生には積極的に声をかけるなど、日常的に状況把握に努めている	3.7
⑥学生に対する経済的な支援は十分に対応している	3.6
⑦学生の健康管理には十分に対応している	3.6
⑧学生への情報提供は十分に行われている	3.4
⑨課外活動に対する支援は十分に行われている	3.4
⑩必要に応じて保護者と適切に連携している	3.6

【評価内容】

- ①学生に対して公平、平等に対応している。
- ②各担当だけでなく教員間で情報共有し、学習に関する支援を実施している。
- ③学生への情報提供、個別相談等に加え、企業研究を通し就職活動を支援している。
- ④各担任だけでなく教員間で情報共有し、相談に適切に対応できるよう努めている。
- ⑤積極的に声掛けするなど、学生の学習面や健康面等の状況把握に努めている。
- ⑥日本学生支援機構の奨学金や、授業料減免の規定により遺漏ないように対応している。
- ⑦危機管理マニュアルを策定しているほか、保健室の設置、年度当初の健康診断、学校医との連携に加え、カウンセラーを配置し、相談に対応するなど適切に対応している。
- ⑧紙媒体や学内への掲示のほか、随時一斉メール等により情報提供している。
- ⑨自治会活動やクラブ活動において担当教員を選定し、適切に支援している。
- ⑩必要に応じて保護者と連絡を取り、本人にとってより良い方へ向かうよう務めている。

(6) 教育環境

評 価 項 目	結果
①施設、設備は教育上十分対応できるよう整備されている	3.6
②学内の実習環境は十分整備されている	3.6
③図書室（書庫）は学生が活用するために十分整備されている	3.6
④学生が自主的に学習するための環境が整備されている	3.4

【評価内容】

- ①設備は計画的に更新をできるよう、予算要求を行い教育上の必要性に応えることとしているが、予算化が困難な場合には、見直しを行い対応することとしている。
- ②実習環境は現在のカリキュラムに対応できるよう整備されている。
- ③図書室書籍の整理を進め、学生の利便性向上に貢献している。
- ④教室は申請により授業外に開放しているほか、交流スペースではインターネット接続が可能な環境が整備されているなど、自主的な学習をサポートしている。

(7) 学生募集

評 価 項 目	結 果
①学生募集の周知は十分に行われている	3.9
②高校等に対する情報提供の取り組みが行われている	3.9
③県外の高校等に対しても積極的に学生募集活動が実施されている	3.9
④学校案内は必要な情報が十分に掲載されている	3.9
⑤学生募集活動は十分実施されている	3.9
⑥学生募集活動において、資格取得、就職状況等の情報が正確に伝えられている	3.9
⑦オープンキャンパスの実施は十分に行われている	4.0

【評価内容】

- ①ホームページ、インスタグラム、学校案内、募集要項などにより広く情報提供するとともに、オープンキャンパスや学校訪問などにより周知を行っている。
- ②担当職員（高校教員0B）が学校訪問を実施し、本校の実績等の情報を提供するほか、各学校の合同説明会に参加するなど、情報の提供を行っている。
- ③6月に全国のデザイン系、美術系、総合学科の高校（約700校）への学校案内等を送付しているほか、長野県・静岡県の高校へは随時イベント等の情報提供に加え、今年度は、群馬県・栃木県内の美術・デザイン系学科を持つ高校を訪問し、募集活動を行った。
- ④学習の流れから講師陣、施設設備、ライフスタイルなど、学生が必要とする情報を毎年工夫しながら掲載している。
- ⑤①～④の情報提供を行い、実技体験を含むオープンキャンパス5回、リモート説明会3回、合同説明会、個別の学校案内などにより、本校受験の契機となるよう努めた。3月にもオープンキャンパス等を予定している。
- ⑥資格取得等の情報はオープンキャンパスを初めとする募集活動において提供している。
- ⑦高校の進路指導の時期等を勘案する中で、実施可能な回数を設定している。

(8) 法令等の遵守

評 価 項 目	結 果
①関係法令、専修学校設置基準等が遵守されている	3.9
②個人情報の保護に関する教職員の理解が徹底されている	3.7
③自己評価を実施し結果を公表している	3.7
④外部関係者による学校評価を実施している	3.9

【評価内容】

- ①関係法令、専修学校設置基準等を遵守し学校運営を行っている。
- ②個人情報保護に関する法令等を教職員へ周知し、遵守し対応している。
- ③自己評価を実施し結果をホームページで公表している。
- ④外部関係者による学校関係者評価を実施している。

(9) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	結 果
①高度技術専門コース（夜間講座）は有効に機能している	2.2
②学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っている	3.0
③地域と連携して学校の立地条件を活用した取り組みを行っている	3.1
④交流スペースは積極的に活用されている	3.0
⑤学生のボランティア活動を奨励している	2.7

【評価内容】

- ①夜間講座の見直しを検討している。
- ②韃祭りや宝美祭への地域商店街代表、地元百貨店の代表、山梨中央銀行の代表、ジュエリー協会・水晶美術彫刻組合の代表、甲府商工会議所などからの参加などがあった。
- ③山梨中央銀行本店北側の展示スペースに展示をするなどの取り組みを行っている。
- ④休憩時間、部活動、来客対応など幅広く活用されている。
- ⑤ボランティア活動を奨励している。